

令和２年度 旭市公共下水道事業会計予算の概要

○ 地方公営企業法適用の経緯

下水道事業が将来に渡り安定した経営を維持していくため、平成２７年度から平成３１年度までの５年間を集中取組期間とし、公営企業会計へ移行するよう国（総務省）の要請があり、本市においても令和２年４月１日より、これまでの「旭市下水道事業特別会計（官公庁会計）」から、地方公営企業法の適用による「旭市公共下水道事業会計（公営企業会計）」へ移行する。

１．業務の予定量

（１） 供用面積

供用面積を 202ha とした。

（２） 年間有収水量

年間有収水量を 566,800 m³（１日平均有収水量 1,552.9 m³）と予定した。

２．収益的収入及び支出

（１） 下水道事業収益として 564,569 千円、下水道事業費用は、564,569 千円を予定した。

（２） 下水道使用料を 102,984 千円と予定し、その他営業収益は、指定工事店指定手数料 408 千円と予定した。

（３） 他会計負担金は、高資本費対策に要する経費及び企業債に係る支払利息、企業職員の児童手当に要する経費等として、一般会計からの繰入金を 243,703 千円と予定した。

（４） 管渠費は、マンホールポンプ場更新工事及び管渠維持管理費として、12,340 千円を予定した。

（５） 処理場費は、浄化センター運転管理業務委託料等として、160,577 千円を予定した。

（６） 構築物等有形固定資産の減価償却費を 269,878 千円と予定した。

（７） 企業債に係る支払利息を 57,493 千円と予定した。

（８） 特別損失 8,957 千円は、公営企業会計の移行に伴い不足する賞与引当金及び消費税及び地方消費税を予定した。

３．資本的収入及び支出

（１） 資本的収入を 211,018 千円、資本的支出を 267,614 千円と予定した。

なお、資本的収入が資本的支出に対し不足する額 56,596 千円は、引継金で補てんする。

（２） 企業債借入額は、69,600 千円で企業債の償還金に充てるための特別措置分 23,600 千円、資本費平準化債 46,000 千円を予定した。

（３） 他会計負担金は、企業債に係る元金分として、一般会計からの繰入金を 141,297 千円と予定した。

（４） 受益者負担金として 120 千円を予定した。

（５） 受益者分担金として 1 千円を予定した。

（６） 建設改良費の固定資産購入費 1,153 千円は、公用車の購入を予定した。

（７） 企業債の償還金は、266,461 千円を予定した。

令和2年度 旭市公共下水道事業会計予算

収益的収入及び支出

(単位:千円)

収 益 的 収 入		(消費税込み)
款 項 目	令和2年度	
下 水 道 事 業 収 益	564,569	
営 業 収 益	103,392	
下 水 道 使 用 料	102,984	
そ の 他 営 業 収 益	408	
営 業 外 収 益	461,177	
他 会 計 負 担 金	243,703	
長 期 前 受 金 戻 入	217,474	

(単位:千円)

収 益 的 支 出		(消費税込み)
款 項 目	令和2年度	
下 水 道 事 業 費 用	564,569	
営 業 費 用	489,705	
管 渠 費	12,340	
処 理 場 費	160,577	
総 係 費	46,910	
減 価 償 却 費	269,878	
営 業 外 費 用	62,907	
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	57,493	
消 費 税 及 び 地 方 消 費 税	5,414	
特 別 損 失	8,957	
予 備 費	3,000	

収 益 的 収 支 差 引	0
---------------	---

資本的收入及び支出

(単位:千円)

資本的收入		(消費税込み)
款項目		令和2年度
資本的收入		211,018
企業債		69,600
他会計負担金		141,297
負担金及び分担金		121
受益者負担金		120
受益者分担金		1

(単位:千円)

資本の支出		(消費税込み)
款項目		令和2年度
資本の支出		267,614
建設改良費		1,153
固定資産購入費		1,153
企業債償還金		266,461

資本の収支差引	△ 56,596
---------	----------